

## 2025年12月11日、「省エネ診断結果報告会」を実施しました

「省エネ診断」の結果がまとまりましたので、診断結果報告会を開催しました。

報告書には14項目の省エネ施策案がまとめられており、リコージャパン(株)から詳細な説明がありました。

こまめなフィルター清掃、空調・照明の運用方法見直し、遮熱シートを用いた空調負荷軽減等の省エネ施策が提案されました。

ここでは14項目の省エネ施策案のうち、汎用性があり県内製造業者の皆さんにとって参考になりそうなものを下表にピックアップしました。

省エネ診断をもとにした改善施策提案	
<p>① スポットクーラーの省エネ運転</p> <p>工場内で使用されることが多いスポットクーラーですが、排熱を上手く逃がすなどの工夫を行うと、より省エネの効果が高まります。</p> <p>①ダクトを接続し排熱を室外に放出する、②ショートサーキット(吹き出した冷気をそのままクーラーが吸い込んでしまう現象)が発生しないよう障害物を避けて設置する、③冷気の向きを適宜調整するなどが有効です(右画像はイメージです)。</p>	
<p>② 空調室外機空気熱交換フィンの洗浄</p> <p>空調室外機に付いている空気熱交換器のフィン(空調室外機の側面から確認できる機種が多いです)は塵埃などで汚れがちです。空気の流れが阻害される場合、無駄な電力消費につながります。</p> <p>定期的にフィン洗浄を行えば、約5%の電力使用量削減が期待できます(右画像はイメージです)。</p>	
<p>③ 照度に合わせた運用ルールの導入</p> <p>JIS推奨照度表には、作業の種類(精密作業、普通作業、粗い作業など)、場所(事務所、工場、洗面所など)に応じて必要な明るさ(ルクス:lx)が示されています。</p> <p>照度計を用いて、各所を適切な照度へ調整することでエネルギーの無駄が省けます。調光対応照明器具への更新、(並列接続の照明器具であれば)照明を間引くなどの方法で調整できます。</p>	
<p>④ 建物スレート屋根の断熱</p> <p>建物屋根の内側にアルミ遮熱シートを貼り付けることで断熱効果が期待できます。</p> <p>リコーグループの工場では、室内全体にアルミ遮熱シートを貼り付け(「魔法ビン効果」を発揮)、30%近くの空調動力を削減した事例もあるそうです。</p>	

報告を受けた当社からは以下の様な発言がありました。

「照明は明る過ぎるように感じていた。照度計を購入したので、手元の照度を基準に調整したい。」

「今後の取り組みは5S委員会の活動に落とし込みたい。頂いたリストを活用し、出来ることから着手したい。」

以上のとおり、積極的に取り組まれる旨の発言がありました。

次回は、この診断結果をもとに今後の取組計画の策定を支援する予定です。